

# TAF 研修会開催報告書

## (2013 年度前期申請)

平成 26 年 4 月 8 日 (火)

(有)地域サービスイモネ

訪問看護リハビリステーション癒々

中本 千瑛

## 【TAF 研修会テーマ】

「10年後に必要とされるセラピストや看護師に求められるものは何か」を追求すべく、各分野で活躍されている講師に、今後に役立つ知識・技術を伝授していただき、臨床での質の高いサービス提供につなげること

## 【全体スケジュール】

1. 平成 25 年 8 月 31 日 (土) 14 : 00～16 : 30
2. 平成 25 年 9 月 15 日 (日) 10 : 00～16 : 00
3. 平成 25 年 9 月 29 日 (日) 10 : 00～12 : 30
4. 平成 25 年 9 月 29 日 (日) 14 : 00～16 : 30
5. 平成 25 年 10 月 5 日 (土) 10 : 00～12 : 30
6. 平成 25 年 10 月 5 日 (土) 14 : 00～16 : 30
7. 平成 25 年 10 月 20 日 (日) 10 : 00～16 : 00
8. 平成 25 年 11 月 17 日 (日) 10 : 00～16 : 00
9. 平成 26 年 1 月 19 日 (日) 10 : 00～16 : 00

計 9 回開催

## 【各回議事：開催概要】

### 1. 平成 25 年 8 月 31 日（土）14：00～16：30

タイトル：第 56 回 TAF「摂食・嚥下障害のリハビリテーション」

内容：機能解剖、評価（画像・聴診）、具体的アプローチ（食物形態・筋力トレーニング）

講師：福岡 達之 先生（兵庫医科大学病院 言語聴覚士）

会場：兵庫県私学会館 4F 大ホール

参加者数：63 名

感想：普段あまり参加されない、言語聴覚士の方々が多く来られていたが、特に大きな問題もなく、開催できた。他職種とのつながり、他分野への知識拡大に貢献できたと思う。

### 2. 平成 25 年 9 月 15 日（日）10：00～16：00

タイトル：第 57 回 TAF「観察による動作分析と治療アプローチ」

内容：姿勢・動作観察の基本的なポイント

観察結果から治療につなげる考え方と治療アプローチ

講師：小西 尚之 先生（加納総合病院 理学療法士）

会場：兵庫県私学会館 4F 大ホール

参加者数：70 名

感想：グループワークがメインの研修会で、参加者の方々も意見交換しながらより理解を深めることができた。紙面のみならず、講師と実際に触れ合うことで、実技技術の向上につながったと思う。

### 3. 平成 25 年 9 月 29 日（日）10：00～12：30

タイトル：第 58 回 TAF「コメディカルが知っておきたい栄養管理」

内容：栄養サポートチームとは、栄養管理の流れ（栄養スクリーニング、栄養アセスメント）、演習

講師：鞍田 三貴 先生（武庫川女子大学 管理栄養士 教授）

会場：兵庫県私学会館 4F 大ホール

参加者数：23 名

感想：参加者が少なかったため、講師費・会場費などを含めるとマイナスとなった。まだまだ、直接的に関わりの少ない分野への興味を持ってもらうための情報伝達がうまくいっていないと思い、改善が望まれる。

4.平成 25 年 9 月 29 日（日）14：00～16：30

タイトル：第 59 回 TAF「多面的側面から診た摂食・嚥下障害」

内容：ライフサイクルから嚥下を考える、高次脳機能から診た摂食・嚥下障害

講師：松下 真一郎 先生（奈良県総合リハビリテーションセンター 言語聴覚士）

会場：兵庫県私学会館 4F 大ホール

参加者数：34 名

感想：言語聴覚士が多く参加されていたが、理学療法士や作業療法士にとっても、有用な内容なので、次回からは理学療法士や作業療法士も参加しやすい広報をしたい。

5.平成 25 年 10 月 5 日（土）10：00～12：30

タイトル：第 60 回 TAF「褥瘡予防・管理のためのポジショニング&シーティング」

内容：ポジショニング調整の必要性や効果を把握するための褥瘡のみかた

ポジショニング方法、シーティング方法

講師：前重 伯壮 先生（神戸大学医学部附属病院褥瘡グループ 理学療法士）

会場：兵庫県学校厚生会館

参加者数：54 名

感想：様々な職種からニーズの高い内容である。実演も含めた内容であったが、若干、参加者の方には見えづらかったように思う。会場設定を今後の課題とし、最大限講師の情報が伝えられるようにする必要がある。

6.平成 25 年 10 月 5 日（土）14：00～16：30

タイトル：第 61 回 TAF 「認知症における評価と介入」

内容：認知症の臨床的評価、中核症状に対するアプローチ、周辺症状に対するアプローチ

講師：重森 健太 先生（関西福祉科学大学 教授 理学療法士）

会場：兵庫県学校厚生会館

参加者数：44 名

感想：認知症に対する実際の介入方法を紹介していただき、イメージが付きやすかった。わかりやすい説明を受けることで、次は患者さんにうまく伝達していくことが課題である。

7.平成 25 年 10 月 20 日（日）10：00～16：00

タイトル：第 62 回 TAF「肩関節の機能解剖にもとづいた評価のとりえ方」

内容：肩関節の機能解剖、肩関節安定化機構、触診、肩関節の loosening や slipping・後方臼蓋形成やインピンジメントの発生機序、肩関節周囲炎における関節法の状態、骨モデルを触りながらの演習

講師：西川 仁史 先生（甲南女子大学 准教授 理学療法士）

会場：三宮研修センター

参加者数：37 名

感想：実際に骨標本を触りながら、話をきけたので、理解しやすかった。少人数での開催としたため、直接的に講師の手技を感じることができ、技術の向上につながったと思う。

8.平成 25 年 11 月 17 日（日）10：00～16：00

タイトル：第 63 回 TAF「体幹機能の評価と解剖」

内容：健常者での座位における体幹機能、健常者での立位における体幹機能、脳血管障害片麻痺患者・パーキンソン病患者での体幹機能の特徴と運動療法

講師：鈴木 俊明 先生（関西医療大学 教授 理学療法士）

会場：ツイン 21MID タワー

参加者数：83 名

感想：講義とデモと実技を分かりやすくお話いただき、満足度も高かった。実際の臨床像と関連付けることで、単純な講義より理解が深まりやすかったと思う。

9.平成 26 年 1 月 19 日（日）10：00～16：00

タイトル：第 64 回 TAF「高齢者の転倒予防」

内容：転倒の要因、サルコペニア、転倒予防への介入、最新の知見

講師：山田 実 先生（京都大学大学院 医学研究科 助教 理学療法士）

会場：兵庫県学校厚生会館

参加者数：47 名

感想：最新の知見やエビデンスを基にお話いただき、大変分かりやすかった。専門職種のみならず、地域貢献に役立つ内容であり、啓蒙の機会になればと思う。

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による

### 【全体感想】

数多くの研修会が存在するなかで、少しでも先々の専門職種としての立場を維持すべく、知識・技術の向上を目的とし、様々な内容で研修会を開催しています。分野を限局せず、他職種が興味をもてる議題で設定したことで、セラピストだけでなく看護師、介護士の知識向上に少しでも貢献できたのではないかと思います。広報の方法や会場設定など、課題はまだありますが、今後も、研修会を通じて最新の研究結果や知見を知って頂く場を提供し続けたいと思います。